

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	ポストコロナ時代に向けた学際的薬学研究と薬学人材育成				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	橋本 博
	研究分担者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	眞鍋 敬
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	竹内 英之
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	黒川 洵子
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	濱島 義隆
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	轟木 堅一郎
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	浅井 知浩
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	渡辺 賢二
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	石川 智久
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	梅本 英司
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	浅井 章良
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	吉成 浩一
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	滝田 良
	発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	橋本 博

講演題目	ポストコロナ時代に向けた学際的薬学研究と薬学人材育成
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>2019年後半に出現した新型コロナウイルスによる感染症の世界的な拡大は、医療現場や経済活動への影響だけでなく、新たな生活様式の実践や価値観の転換など様々な変化をもたらした。大学の研究及び教育においても、オンライン化や省力化などによる既存のパラダイムからの変革が起きており、ポストコロナ時代に対応した基盤整備と研究教育の推進が求められている。そこで本計画では、本学薬学部の強みを活かした研究教育を推進するとともに、ポストコロナ時代への対応に向け、デジタル技術の導入による研究教育のデジタルトランスフォーメーション（DX）を目指した。具体的には、薬学が物理・化学・生物学が融合した学際領域であるという原点を礎に、化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学における研究推進を起点として、それぞれの分野の強みを活かした交流や連携、さらには共同研究により、創薬や生命科学を原子・分子・オルガネラ・細胞・個体レベルで俯瞰した学際的薬学研究を推進した。さらに、数理・データサイエンス・AIのデジタル技術を活用したシミュレーション等によるインシリコ支援を活用し、学際的薬学研究の多角的なDXを目指した。以上のような研究を推進することで、ポストコロナ時代に求められるDX人材を育成する教育を実践した。</p>